

# 知って納得 なるほど! column



※写真はイメージです

## 甲子園と涙の思い出

甲子園と聞いて、決まってる思い出す映像はありませんか？プロ野球選手の高校時代の名勝負や、負けて甲子園の土を袋に詰めている選手のくしゃくしゃに泣きはらした顔、応援に行った県大会の応援スタンドで涙を流しながら聞いた試合終了のサイレン……。そこには、強い夏の日差しと悔し涙の記憶が多いように思います。

「♪雲は湧き光あふれて」と聞くといざ試合に臨むぞ！という歌のはずなのに、すっかり涙腺が緩くなった中年の身では早くも感涙してしまったりします。今年も感動するに違いない甲子園の名勝負を思っ「思い出し笑い」ならぬ「予想もらい泣き」のような感じですよ。

これは親目線で甲子園を見ているからかもしれない。負けて泣いているわが子が不憫だ、勝たせてやりたかったというような気持ちです。自分が高校生のはるか昔はかっこいい選手や好プレーを見て興奮していましたが、年齢を重ねるにつれ、負けたチームに目が行くようになってきました。二度と来ない高校時代の甲子園という大舞台。どんなに勝ちたかった事か、どれほど悔しい思いをしている事か……と感情移入してしまい、勝手に「わかる、わかるよ！」と気持ちに寄り添ってしまうのですよね。もちろん

勝った方だって同じ高校生なのですが、そこはやっぱり負けて泣いている方に気持ちが行ってしまいます。

そうやって「人生でたった一度」を逃してしまった悔しさを噛みしめる高校球児たちに勝手に寄り添う気持ちで見る甲子園というのもとても良いものです。自分にもそんな時があったなあ、と思いを馳せて、その時だけでも高校時代の純粋な自分に戻ったような気になります。なんとなく仕事している毎日をちょっと反省して「今日という日は一日限り。明日はもっと頑張ろう！」なんて思ったりもします。……数日で忘れませんが。

さあ、今年も甲子園の予選が始まります。月並みですが、今年はどうなドラマが待っているのか。今からとっても楽しみです。



## 「十津川村を訪れて」

〔経緯〕  
平成24年配布のVol.132にて取り上げたコラム「木造校舎を求めて」(担当…広報委員 中川氏)。今回のコラム掲載にあたり筆者は再読する。

奈良県の最南部に位置し村としては日本で一番大きい十津川村。当時同氏がコラムの取材で訪れたのは同村の教育資料館。その後の平成23年9月、集中豪雨により十津川が氾濫し受災。道路も寸断され村が孤立してしまつたとの知らせを聞く事となる。

十津川村で被害をもたらした大規模な水害…復興によりその爪痕が薄れ記憶が遠のいていく中、再びその地を訪れる。

### 〈十津川村の歴史と災害〉

歴史を遡ると明治22年に起きた大水害、その被害はかなりの規模であったと記録に残る。

当時の人々は大規模な水害にあつて被災地を離れる決断をし、その大半が新天地を求め北海道に移住したと聞く。生活基盤のない土地での開墾作業等、先人の苦勞は計り知れない。

現在、それが北海道にある新十津川町となっているのは、存じの方も多し事でしょう。

### 〈十津川村の見どころ〉

今回の取材に戻るが、最初に訪れたのは旭ダム。過去に大きな氾濫があつた

地とは思えないほどの静寂さと美しいその景色。う回路を通り山道を抜けた後に目にした光景であつたためより心を打たれる。

続いて訪れたのは鉄線橋で日本最長の「谷瀬のつり橋」。長さ297m、高さ54m、下を流れる十津川とその景色は雄大でぜひ皆様も訪れて欲しい場所である(渡橋は無料)。

最後に訪れたのは町役場の向かいにある歴史民俗資料館。近くには道の駅があり足湯にも浸かれる施設がある。

資料館に話を戻すが世は幕末、長きにわたり年貢免除の地であつた事に甘んじず、御所の守衛等による献身的な協力により十津川郷土は、その地位を築いていった。

護衛のため京都に詰めていた事も縁であつたであろう。郷土達は坂本龍馬らとも親交が深く交易にも貢献していたとされる。

彼らが十津川村へ帰村する際に渡されてきた通行手形。坂本龍馬が暗殺された際、嘘か真かその通行手形が使われたとされる。事件の直前、龍馬は十津川の通行手形を見て「おう、十津川郷土か」と応え刺客を部屋に通したとか……。その通行手形は本物であつたのか？はたまた陰謀か？未だ謎である。

豊かな自然とその歴史を知り、皆様にも興味を持っていただければ幸いです。

### 〈災害と防災への心構え〉

さて、長々と記述したコラムではございますが、皆様に申し上げたい案内がございます。

十津川村での水害や本年は熊本で発生した大規模な地震。被災された方々には早い復興を願うとともに災害の恐ろしさを我々も感じ取る事が大切であると思ひます。

いざという時に備え当組合では防災意識を高めていく活動をしております。防災に関するBCPの詳細は当組合HPより閲覧できますので皆様のお役に立てれば幸いです。

